

多形紅斑

PEG-IFN α -2b



64歳， 女． 2005年7月中旬よりC型肝炎に対してPEG-IFN α -2b・リバビリン併用療法開始． 同月下旬より注射部位に紅斑が出現， 10月末に皮下注射後に掻痒を伴う紅斑が全身に拡大， 11月より38℃

台の発熱を伴う． 全身に融合傾向を有する浸潤性紅斑が多発． 両上肢の皮下注射された部位には板状硬の紅色局面を認めた．

(田中京子ほか：皮膚病診療 30：503, 2008)